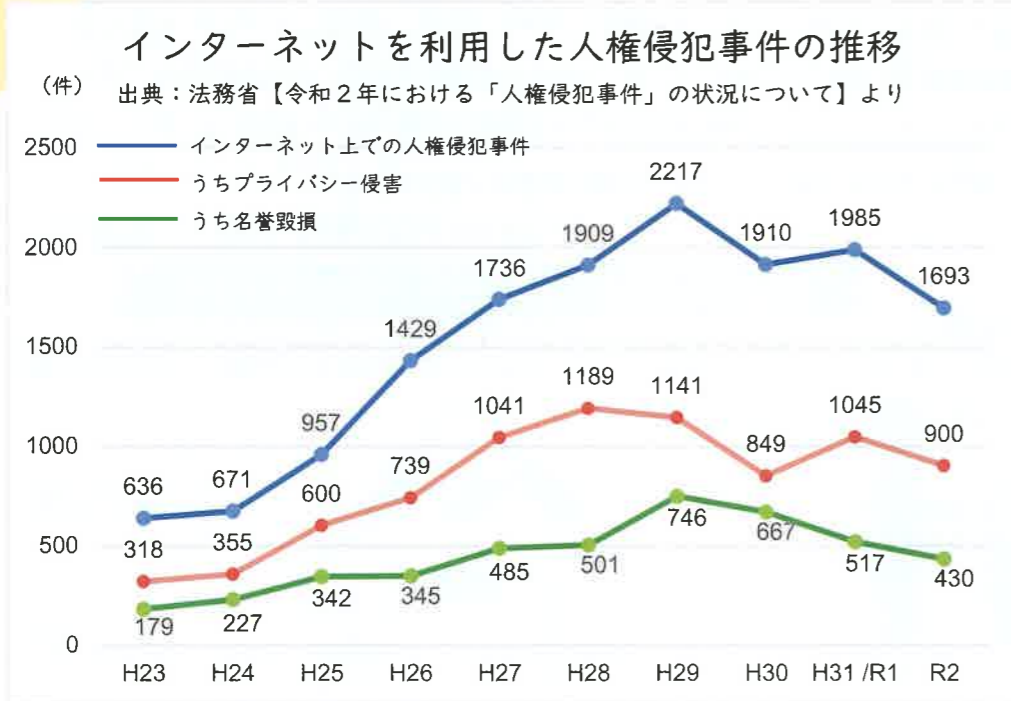


インターネットの世界にも人権文化を



インターネットにおける差別・人権侵害の現状はどうでしょうか？

2019(令和元)年度の人権についての西脇市民意識調査によると、「インターネットによる人権侵害」は2番目に関心の高い問題となっています。



- ・オンライン会議
- ・テレワーク
- ・リモート学習など



- ・差別書き込み
- ・児童ポルノ
- ・嫌がらせメール
- ・ネットいじめなど



全国的な人権侵犯事件は2017(平成29)年度以降減ってはいるものの、依然として多くの事件が発生していることがグラフから読みとれます。

インターネットをより良く使うためにどんな取組があるのでしょうか？

インターネット【パトロール】

青少年がインターネット上のトラブルに巻き込まれることを未然に防ぐために実施しています。学校と情報を共有し指導につなげています。

インターネット【ルール(約束)】

学校では安全にインターネットを利用できるように子どもたちが中心となってルールを作っています。ご家庭でもルール作りを進めてみませんか。

インターネット【モニタリング】

西脇市に関わる差別書き込み等を検索し、拡散防止に努めています。2018(平成30)年11月より取組を開始しています。

インターネット【研修会】

学校や地域では、インターネットに詳しい講師を招いた研修会を実施し、ネット社会における差別の現実や心得などについて学んでいます。

差別・人権侵害をなくすために大切なことは何でしょうか？

リテラシー(知識や活用力)を高めましょう

情報をそのまま受け取らない、うのみにしない

受け取った情報の真偽をよく確かめる

自分にとって都合のよい情報ほど注意する

投稿やシェアには「責任」がつくことを忘れない

インターネット上には、根拠のない情報や不確かな情報が多くあります。そうした情報を真に受けると、思わぬトラブルに巻き込まれてしまう可能性があります。インターネットに関する正しい知識をしっかりと身につけ、楽しく便利に使うことが大切です。



差別をしない・支持しない・なくす努力を学びましょう

正しい知識・理解を身につける

言葉や立場を置き換えて考える

知識等を常にアップデートする



「無意識の思い込みや偏見をもっているかもしれない」

「無意識に他者を傷つけていたかもしれない」

ということを意識することが大切です。差別を受けている人たちの生きづらさを知らないでいると、その人たちの思いに気づけなかったり、差別を支える側にまわったりしてしまうことを、私たちは忘れてはならないと思います。

《学習会に参加された市民の方の声》

インターネットでこんなに差別的な発信があるとは、正直びっくりしました。今日の学習会で“無意識に差別している”ということにハッと気づかされました。自分も知らず知らずに人を傷つけてしまっているかもしれないと考え、行動しなければと思いました。

